

4 地球温暖化及びヒートアイランド対策のための技術支援に関する研究

テーマ1 地球温暖化対策のための技術支援に関する研究

テーマ2 ヒートアイランド対策の技術支援に関する研究

[総合評価とコメント]

- 地球温暖化は人類全体の課題であり、ヒートアイランド対策は大都市部における緊急性の高い課題である。本研究課題はこれらに対して、地方レベルでの取り組みの基礎データを得ようとするもので、社会的ニーズの高いテーマといえる。具体的な成果は次年度以降であるが、有効な情報が得られることが期待される。
この課題については、市町村のサポートという性格が強いと理解できるが、地域特性に留意することが必要である一方で政策的な統一性も重要であることから、県内の政令市との連携をより密にして、統一のとれた施策につながるような研究成果が得られるように努力されることを望みたい。
- テーマ1は、今日、地球規模で関心の高まっている地球温暖化をテーマとし、温室効果ガスの排出削減について検討するという点で時宜を得たテーマだと思います。
ただ、課題①では主に家庭からの排出、課題②では建設資材からの排出を対象としています。なぜ家庭と建設資材を検討対象とするのかがやや不明確です。課題①で全体の排出量の把握もなされるようですので、これらが現在どのくらい温室ガス排出に寄与しているのか、他に寄与が大きく対策が必要な対象はないのかについても検討していただければと思います。
テーマ2については、遮熱性舗装と壁面緑化について効果を検証するという点ですが、十分な成果が得られれば、今後、施策の推進をバックアップする有用なデータ・知見として活用が期待されます。
- 温暖化対策のためには、エネルギー使用と交通システムにおけるモーダルシフトをいかに実現するかという問題意識を持つべきである。エネルギーについては、新エネルギーの普及をいかにして促進するかというテーマ設定が大切である。
- 地球温暖化対策は行政への基礎データ提供として意義がある。
ヒートアイランド対策、夏場の測定は気象条件により効果が大きく異なるので、晴天時のデータが取れるよう、予備日を設ける等の工夫をしてほしい。
- 両テーマとも実際的な問題で、成果が期待される。
テーマ1：温暖化については、今後調査への要求が増えてくることが予測される。それに備える意味でも、家庭からの排出量等の推計方法の検討をしっかりとっておくことが重要と考えられる。主として電力とガスの消費量から算定しているとのことであるが、石油についてはどうであろうか。
テーマ2：遮熱性舗装については、構造（あるいは原理など）について、ごく簡単にでも記述した方が、報告書としてはわかりやすくなると思われる。
- 温度の測定は、目盛の指示がとにかくは、得られて簡便な実験と考えられがちであろうが、果たしてそうであろうか。求められているものは、地域あるいは実験箇所における代表値である。そうした観点からは十分な配慮が不可欠と思われる。
測定方法及びそれに伴う評価項目及び用語についての厳密な定義、前提条件を精査することが不可欠であろう。

平成19年度環境科学センター研究課題評価結果

(数値的評価)

★評価者6名

| 〈評価の内容〉 | 〈評価項目〉 | 〈ランク〉 | | | | | |
|------------|---------|--------|--------|--------|--------|--------|--|
| 課題設定の妥当性 | ○背景と必要性 | 5 (3人) | 4 (3人) | 3 (0人) | 2 (0人) | 1 (0人) | |
| | ○優先性 | 5 (2人) | 4 (3人) | 3 (1人) | 2 (0人) | 1 (0人) | |
| 計画の立案と実施方法 | ○研究内容 | 5 (0人) | 4 (2人) | 3 (4人) | 2 (0人) | 1 (0人) | |
| | ○計画の妥当性 | 5 (0人) | 4 (1人) | 3 (5人) | 2 (0人) | 1 (0人) | |
| 研究の進捗状況 | ○進捗状況 | 5 (0人) | 4 (1人) | 3 (5人) | 2 (0人) | 1 (0人) | |

※ランクは、5点満点の評価で5 (優) ~ 1 (劣)